

For Adult



僕の彼女は
セーラー戦士

6



着いたわ…
ここが同人誌
即売会の会場よ…

へえ、っ
すごい人だね…
あたし初めて来たよ



でもさ…
何で今日はここに
来ることになった？

レイちゃん
その…同人誌って
いうのに興味が
あるのかい？



なんか眼鏡の
お兄さんしか
居ないけど…
近眼の人の集会か
なんかなのかな？

全く…
これだから
素人さんは…

そ…そんなの
あつ…あるわけ
ないじゃない!

マンガなんてガキンちよの
見るものよ!
勿論こんなところ
来るのだからねっ!

ほ…
ほんとかな…?

私達セーラー戦士は
みんなの憧れの
存在なわけだし

一般人がイメージして描く
セーラー戦士の同人誌を見て
改めて私達の課された期待や
使命の大きさを再確認しよ
うって言う真面目な理由で
来ているんだから…

け…決してマースの
大人気を見て悦に入ろう
って訳じゃない
んだからねっっっ!

そ…
そうなんだ…

ところで何であたしを
誘ったんだい?
他の三人じゃ駄目だったの?

あの…
そ…
それは…

い…言えるわけないわ…
あの三人は内部戦士
人気ランキングで
マースより上位だから
だなんて…

…まあ
いいじゃない
そんなこと…

あつ!
綺麗な絵の看板だね!
ネプチューンと
ウラヌスの絵だよ

凄いいりだね…
やっぱりあの二人…
この世界でも
人気あるんだな



へくそうなんだ…
それにしても初めて
来た割には随分
詳しいんだね



あそこはねっ！
ス〇ジオ
カ〇〇ブスっていう
ウラネブ最大の
超人気サークルさんよ！

正確無比なデッサンと
豊富な知識に裏付けされた
豊富なストーリーで
フアンの中には神格化された
神作家さんなのよ



そつ…それはっ！
使命の為に常日頃から
情報収集を欠かして
いないからよっつ！

先生の御本は
全部持ってるけど
これだっつて使命の
為に入らねったっつ！

よ…よく
わかんないけど…
いろんな世界が
あるんだな…



わ…
わかった…



一通り回って見たけど…
マジズ本も
ジュビター本も
なかなか無いね…

絶対おかしいわよ！
ヴィーナスや
マーキュリーは兎も角
あのセーラムーン
ですらあるのに！

全くオタクってのは
見る目がないわねっ！
だからいい年して彼女の
一人も出来ないのよ！
故郷で両親が泣いてるわね

まあ折角来たんだし
あそこのいかにも
詳しくそんな人に
聞いてみたら？

な…なんて
いう自信…

マーズ本って
大人気で即完売
だからないん
ですよ？

みんなの憧れ
セーラーマーズの本が
ないわけ無いもの…

マーズ？
ああ明神タケルね
六神合体の？

違う？セーラーマーズ？
ああ…そんなのいたねえ…
赤のセーラースーツと
赤のハイヒールで
自意識過剰そうな奴か…

……
……

セーラーマーズ本
なんて作ってる奴
いないだろお？

セーラーマーズって
性格悪そうだし
気取ってるから
人気ないんだよね

それにあのダサくて
野暮ったい
伸びきった黒髪…

なんか風呂
入ってなさそうでさ
清潔感ないんだよね

ふ…風呂って
アンタあぁあ！
言われたくないわよっ！

な…なんで
君が怒るんだよ！

本人って訳でも
ないのにさ…！

……
……

すみませーん♥
お騒がせしました

あつ…！
ちよつと待って！

あの人のいない小鳥
何とかという
サークルの隣の隣…

えっ…！
遂にマーズ本が
見つかったのね♥

辛気臭いサークルね…
これじゃ人來ない訳よ
セーラー戦士と結婚？
馬鹿がうつるわ…
他行きましょう…！

あれ？
このサークル…
人気のヴィーナスの
本出してるのに
誰も人がいないよ…

じゃなくて…
ジュピターが表紙の
本ばかり置いてある…

あつ…！
全部ジュピター本
じゃないか！

なによっ…！
まあ中にマーズが
いるかもしれないし
どれどれ…？

新刊

300

Jupiter

ジュピター

ど…
どうかな…?



…

ちよつと…本人の
目の前でそんなこと
言うの悪いんじゃないのかい?



全然全く
どうしようもなく
駄目えーつつつ!

マベっ…別に
マーズがひとかけらも
登場しないから
いんたからねっ!
な

絵は微妙だし
コマ割りは平凡で
工夫が見られないし
内容は本人しか分らない感じの
独りよがりな作りだし
もつと人に見てもらうことを
考えて作らないから
売れないのよっ!

あくあ!
今日は来て
損しちゃったわ!



マーズ本がないイベント
なんてクリーブのない
コーヒーみたいなものよ!

次は執事喫茶に
行くわよ!
もっ…勿論
行くの初めて
なんだからねっ!



このセーラー
ジュビターに
かける熱意…
情熱…

恥も外聞も
かなぐり捨てて
邁進する姿…
別れた先輩に
そつくりだ…

あの…
まこちゃん…？

この机の上の本っ！
全種類下さいっ！

えっ…！
買って
くれるんですか？

いや、
売れたの
久しぶりだなあ…

あ…あのっ！
そのっ！
少しっ！
お話をっ！

はは…
はいっ…！

な…なによっ！
折角予約したのに
執事喫茶はレイちゃん
一人で行けっ！
いうの…？

いいわよっ！
私くらいのプロなら
一人で行ったって
全然恥ずかしくなんか
無いんだからねっ！

付き合っ
てら
ないわ…
お二人とも
お幸せに…

いや、
それにしてもセーラー
ジュビターの事…
凄く詳しいんですね！

僕以外にもこんなに
ジュビターを愛して
くれる人がいるなんて
感激です…！





魅力ですか？
僕にしてみれば
ジュピターの全てですよ

人気とか
そういうのは
関係ないんです

僕が大好きなジュピター像を
描いて…それでみんなに
もっとジュピターの
魅力を分かってもらえれば
いいな…って



そんなあ♥
愛してるだなんて♥

もつと
言つて下さい♥

えっ…？
今何か？



い…いえ別に…
ところで美少女
揃いのセーラー
戦士なのに…何で
ジュピターを…？

体は大きいし乱暴者で
セーラー戦士の中でも
人気最下位なのに…

確かめてみたい…
この人の気持ち

セーラージュピターの…
どんなところに
魅力を感じるんですか？

あの…それじゃ
あたしはこれで…

次の本…
楽しみにしています

あ…
どうも…

いま…すごく
嬉しいかも♥

いたんだね…
ジュビターをあんなに
想ってくれる人が…

大好き…か…

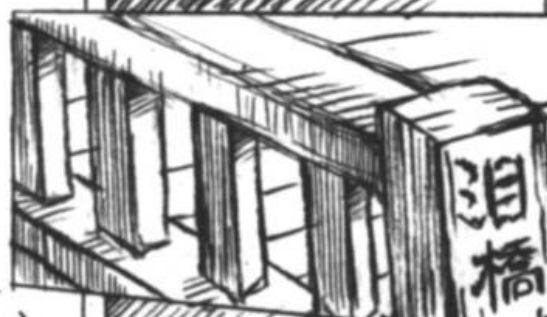
こんなに
ジュビターを
愛して
くれてるなんて…

あたしに出来る事が
あれば何でも
してあげたいな…

これが
あの人の住所…!

おくづけ

サークル名 ねじりんぼう
住所 東京都台東区泪橋
1-2-3 丹下荘 101
丹下方 西寛三



うふっ♡
見つけた…！

はい！
どちら様ですか…？

あつ！
あな
あの時の…！

ふふっ♡

こんばんわ♡
執筆活動の
お手伝いに来ました！

お料理の腕には
ちよつと自信が
あるんですよ！

それじゃ
おじゃましまーす♡

あ…まって！
そっちは
ヤバイっ！







あの…
これ今描いてる
原稿なんだけど…



今度のは自分で
言うのも何だけど
…自信作なんだ

ちょっと読んでみて
欲しいんだけど…

…!!
…

どうかな…?



嬉しいよ…
同じジュビター
ファンの君に
そんな事言っ
てもらえると…

ひよっとして
今度は少しくらい
売れるかな？
なんてね…



素晴らしいです…
全部のページに
ジュビターへの
愛が溢れてて

何だか…
読むだけで心が
温かくなれるような…
そんな感じがします

感動…
しちゃった…



そしてイベント
当日の夜...

...今日は...
本当に...
ごめん...

その...
全然売れなくて...

ワウ...
ウウ...



大丈夫！
きっと売れますって

初売りの日は
あたしもお手伝いに
行きますねっ！
きつと行列が
出来るでしょうからねっ！



何で君が
謝るんだよ！
ジュビターでも
ないのに...！！

僕が
ジュビターの魅力を
もつと表現できて
さえいれば！

全部僕が
悪いんだよっ！



みんな見る目が
ないんです...
こんな素晴らしい
出来なのに...

私こそ
ごめんなさい...

セーラージュビターの
人気がないから
いけないんです...

そんなに自分を責めないで下さい…

他の誰が何と言おうとこの本はジュピターへの愛が溢れる素晴らしい本ですよ！

もしもセーラージュピターが読んだら…きつとそう言っって誉めてくれるはずですよ！

そんな…本人でもないのにそんな事気軽に言わないでくれよ！

ありがとう…いいんだもう…

それじゃ…ジュピター本人の口から直接言われたら

その時は納得してもらえるんですか？

でもそんな有り得ないこと言っただけで仕方ない…

そりゃ…まあもしそんな事があればだけど…





ジュピター
スターパワー！
メイクアップ！

き…君が
セーラージュピター
だったのか…!!

すごいっつ!
本物が目の前に
いるなんて!

その本に描かれた
ジュピターへの愛…
とても嬉しかった♡

…いいんですよ♡
好きにしても…
あたしの戦士の身体…
あなたになら捧げ…

そ…そうだった!

ええっつ!?
憧れのセーラー戦士の
お誘いを無視ですか!?

実はいま次回作の
構想を練っている
所なんだけど…

圧倒的力差で屈辱的敗北を
喫したジュピターが仲間を
人質に取られ為す術無く敵に
屈服する話を書こうと
思うんだけど…

は…はあ…

そこで…だ！今からここで
モデルとして僕が希望する
色々なポーズをとって
見せて欲しいんだ！

ええっ？

モデル…だけで
いいんですね…

本物をデッサンすれば
今迄とは段違いのいい絵が
描けるに違いないしね！

アハハ…

あんなに好きって言うたが
憧れのセーラージュピターが
目の前にいるってのに
指一本触れないなんて…！

まあ…この硬派な所も
マンガにかける情熱も
先輩にそっくりだ！
だからいいんだけど♡

うふっ♡
よし…！

でも…二次元に
負けたままじゃ
悔しいな…

ちよつと
お借りしますね

えいつ♡

あぎやあああ！
純白のセーラー
スーツがあああ…

ふふっ♡
驚くのはまだ早いよ

な…何をっ！

シユニアプリム
サンダアーツ…

う…うぐあっ！

そ…そんなっ!
何で自分の体に
必殺技を…!?

うわっ!部屋が
メチャクチャだっ!
ファイギュアがああ…!

セーラー
ジュピター…!

くっ!うううう…
余りにも
強すぎるよ…

何て破壊力の電撃だ…
こんなに呆気なく
セーラーズーツの防御力が
破られてしまったなんて…

ジュピター…
一体何を…?

必殺技も通用しない上
仲間まで人質に取られ…
一体どうすればいいんだ…

ふえっ？

あんたがここの
ラスボスって訳か…
…結構やるじゃないか

だけとね…

セーラー戦士の
誇りにかけて…
絶対にあんたなんか
屈しない！

絶対にだよっ！

そうか…
ジュピターは僕を
こうするつもりで…！

22

そう言うことなら
勿論遠慮無く…♥

グハハハッ！
もう終わりか？
セーラージュピター！

い…痛っ！

所詮は女だ！
我が前に跪き
屈服するがいい！

何がセーラー戦士
随一の戦力だ…
聞いて呆れるわ！

くっ！
まだまだだよ…

あんたなんか
絶対に負けない！

生意気なっ！
これでも喰らえっ
！！

あぐあっ！

そ…そんな…
こいつ…
強すぎるよ…

あたし…ここで
終わるのか…!?

敗北を喫した
女戦士の末路…
勿論どうなるかは
分かってはいるよな？

こ…これが
本物のセーラー
ジユピター…！

まあ逆らえば
お前の仲間の命も
ないわけだが…

もしもお前の奉仕が
十分なもので
私を満足させたなら…

いつも戦場でこんな
表情を見せてるんだと
思うだけでもう…っ！

仲間共々命位は
助けてやってても
いいかもな…

分かったよ…
あたしは
どうなってもいい…

その代わり
仲間の命だけはっ…!!

みんなが憧れるあの
セーラーズジュピターに
してもらえるなんて!!

うわあああつ♡

んんうっ…

…お願い!!
助けて!!

気持ちよすぎるっ!!

ククッ：
なかなかいいぞ
セーラージュピターよ！

お前の戦士の身体…
まずは口脛から
犯してくれるっ！

いふっ！

セーラー
ジュピター…
可愛すぎるよっ♡

射精すぞっ！
無様な敗戦士の
口になっ…！！

くっつ！
あああつ！

くっつ！
くっつ！
くっつ！

で…射精るっ！

あっ…♡

くううっ！
あああつ！

ジュピターのなか…
暖かくて柔らかくて
気持ち良すぎるっ♡

クククツ…こいつ
一体何を言ってるんだ？

これで…もう仲間を
解放してくれるんだろ？

は…

私を満足させる
までと言った
はずだが…？

この戦士の身体…
捧げ尽くす覚悟で
奉仕するがいい…！

話が…
違うよっ！



いやああつ♥

んん?
何だこれは…

まさか憎き敵である
私の責めを感じたわけ
じゃないよなあ?

あふああつ!

男勝りの気質に
この淫らかな戦士の身体…



犯し甲斐のある
堕戦士だな
セーラージュピターよ…

これが夢にまで見た
セーラー
スーツの感触か…!

気持ちいいっ!
最高だよ
ジュピター♥

あ…待って…っ！
今度はあたしが♡

随分積極的だな…
これが木星を守護に
持つセーラー戦士の
成れの果てか…

くっ…！
だ…だって…

これがセーラー
ジュピターの
胸の感触♡

…悔しいけど
あたしには
仲間を救う使命が…！

あたしは本当に
どうなってもいいから…
だからせめて仲間は…！

ジュピターの胸の
柔らかさとセーラー
スーツの滑らかさが
相まって…！

う…うわっ！

ヤバイっ!
このままじゃ
また…

でもまだセーラー
スーツを
汚したくない…!

も…もういい!
やめろっ!

えっ…?
そんな…

こ…ごめん…
気に入らなかつた
なら謝るよ…

何でもするからっ!
だから仲間には…

頼むよっ!

敗北を喫した随戦士
らしく無様な格好を
させてやる…
腰を上げて恥部を晒せ…

は…はい…



こ…これで許して…
くださ…い…

見られるのが
こんなに
恥ずかしいなんて…



まだまだだ…
もっと高く
上げて晒せ…

これは何だ？
無様な敗戦士
セーラージュビターよ

敵に敗北し辱めを
受けているくせに
感じ濡らしている
無様な恥部をな！

そんな…！
気付かされていたのか…

こんな淫らな
涎を垂らして…
恥ずかしくないのか…？

い…
いやああっ！

まあ…今日の所は
勘弁してやろう

此より注入されるターク
エナジーがお前のエナジーを
破壊し無力化させ…
やがてお前は我が忠実な
配下となるのだ…!!

いっ…
いやああああ!
それだけは…っ

何でもするから…
それだけは…
許してっつ!

もうダメえ…
最初は演技だったのに
本当に敵に敗れた
気分になっつて…

ククツ…よく見ておけ!
お前がセーラー戦士で
いられなくなる瞬間をな!

いやあああつ!
お願い…っ!
もうやめてえっつ

すごい
体が熱い…
興奮してる…
♡



皮肉なものだな…
お前の淫らな体液の
お陰ですんなり
体内に侵入できたぞ…

いやあつ！
もう…ダメ…

お前はセーラー
戦士資格だ…!!
我が配下となれ！

やめてええつ！
ああたしのセーラー
パワ…が…っ！
ああああ…

遂に我がダークエナジーの
前にセーラーパワーが
敗れる時が
来たのだな…

あ…あたしの
セーラー…
侵されていく…!!

木星の守護が…
戦士の身体から…
消え…いく…ええ！
もう許してええ！

フツッ：
私を満足させる迄は
真の解放などあり
えん話だ

そんなあつ……!

早く助かりたければ……
もっと屈辱的な体位を晒し
私を楽しませるがいい……!!
敗戦士の無様さを見せるのだ

憎き敵の私に無防備に
自ら戦士の身体を預ける……
堕ちたものだな
セーラージュピターよ!

あ……♡
あんっ♡
ああんっ♡

そんな……事……
言わないでえ♡

ああんっ♡

ククッ…悔しいと言っている
割には自ら動いているように
見えるのだが…
ダークエナジの与える
快楽に勝てる奴など
いないのだよ…!!

す…すいっ♡

体重が掛かって…
こんな奥まで
挿入してる♡

男勝りのセーラー戦士
セーラージュピターが
敗れた敵相手に痴態を晒し
戦闘を放棄して
乱れきるとはな…

仲間には見られたくない
姿だろうなあ…
見たら何て言うかな…

セーラー戦士に
生まれてきた事…
後悔するがいい！

はあんっ♡

いやっ…♡
そんなっ！
いわないでえ…♡

あーっ
快楽に負けては駄目だ…
あたしには使命が…
でも気持ちよすぎて
もう使命なんか…

もう耐えられない！
セーラーズーツの感触で
もつと気持ちよく
なつて下さい♥

んぷっ！

36
何て滑らかで
スベスベしてて…
きめの細かい
素材なんだ

セーラーズーツの
素材で包まれるのが
こんな気持ち
いいなんて…！！

…もう使命は
捨てて
ご奉仕しますからっ
だからっ！

おねがいつつ！
もつとしてえ♥

だからもつと強い快楽を
この随戦士ジュピターに
お与え下さい…♥

あんっ♡

くっ…!!
もう射精そうだった!

お前の戦士の
体内に出すぞっ!

やっ…
いやあああ!

ダークエナジーで
セーラーパワーを
駆逐してやる!
セーラージュピターも
もう終わりだ!

いつ…いやっ!
ゆるしてっ!

やめてえ…
それだけはっ
おねがいつっ!



あっ…ああっ
イクっ!
射精るうっ♡

あ…ああああっ!!



木星の守護を失ったお前は
ただセーラー戦士の格好を
しただけの女に
成り下がったわけだ…
…どうだ気分は？



はい…♥
幸せです



これからは
あなたの配下として
喜んでお言葉に
従います♥

あつたんだ…♥
この人の
彼女に



おおっ…そうだった！
今のこの出来事を
マンガにおこすんだ！

あのお…
あたしは…？

という訳だから！
また今度！
ばーいちゃっ！

この幸せを同志の
木星人にお裾分け
しなればねっけ
次の新刊はこれ
決まりだっ！

ここまでしても
目の前のセーラー
戦士よりマンガを
取るのね…

ぽんっ…

この格好で
帰るのか…

まあ…でも
ここまで愛されて
いるんだから
今日のところは
許してあげるか…♡

そのうち絶対に
マンガよりあたしって
言わせてやるんだ♡

あとがき

どこから来たのまこねえマコ、というわけで彼女シリーズもいよいよセーラージュピターことまこちゃん編なのです。出だしから加齢臭が漂ってて申し訳ないです…。だって年頃なんですもの…。こりやおっさんしか分からないですね…。

冬コミ新刊のもう一冊であるマーキュリー本の後書きにも書いたのですが、秋口はわたくし入退院を繰り返しておりまして…。入院中は暇なので当然セラムンのことばかり考えていたのですが…。で、色々考えた結果…。私のような貧乏人でも気持ちよく結婚してくれるセーラー戦士はまこちゃんしかいないのではないかと。一緒に夜中のスーパーで半額ものを漁ったり、超ボロ車に引き詰まってジャポフェリーに乗ったり、乗船受付の際値段表見て「神戸高松が一人1800円って何て安いんだ!」って一緒に感激してくれたり、ジャンコフェリーの船内でも一人女性専用フロアの椅子席に行ったりせず、私と一緒にエンジンの振動が直に伝わり脳味噌がビリビリ震えるあの絨毯敷きの二等と一緒に川の字になって寝てくれたり、船内で評判のカレーうどんを食べようと売店に行ってみたらハオスのレトルトカレーの袋が転がって一緒にガッカルしてくれたり、そうこうしてるうちに売店が閉鎖になり節約の為に何も食べずタダで飲める氷水を腹に流し込み3時間40分一緒に耐えてくれたりするセーラー戦士はまこちゃんしか居ないと思うのです。みちるさんとかだったら一人だけヘリで先に行ってしまうそうですし、美奈子だったら「な～にこの汚い船!乗ってる人も金のなさそうな人ばかり!こういうのを難民船って言うのよね!諺にもあるじゃない?船頭多くして、それでも船頭ならきつとなんとかしてくれる、っていうやつよ!」とか大声で言いそうですし…。

マンガの内容についてですが…。ちょっと今回はかなり飛ばしたんで何かいうのは恥ずかしいです…。レイちゃんのマンガの出来について怒鳴ってる台詞は…完全に私に向けての台詞なんです…。自分のマンガを見るたびにそう思っているものですから…。独りよがりの意味不明マンガ…って台詞。深く心に突き刺さります…。
本当なら題名を「まこ、甘えてばかりでごめんね…おいらとっても幸せなの」にしようかと思ったんですが、長すぎる上に強烈な加齢臭が漂って窒息しそうなので普段通りの題名にしました…。まこ…わがまま言ってごめんね…。

さて、世間では0系新幹線引退なんて日々ニュースでやってますね。今新幹線の絵を描いてみると言われれば大抵の人は0系の丸いライトの絵を描くことでしょう。新幹線と言えば0系と完全に定着していますものね。まあカモノハシみたいな新型よりも描きやすいからのもあるでしょうが…。

今でも超貧乏の私は新幹線なんて滅多に乗ることがないわけで今でも憧れの乗り物には変わらないのですが、私がまだ小学校低学年だった頃は今よりもっと所得格差が激しく、小学校のクラス内でも休みごとに海外旅行に行ったり札幌ラーメンが食べたいとおもったっていきなり羽田から飛行機でラーメン食いにいき、そのまま食べただけで帰ってきたりなんて超バブリーな人もいた反面、私のようにほとんど片親で超貧乏な家庭も沢山あったわけです。そんな身の上の私にとっては新幹線というのは雲の上の乗り物で…。休み時間に自由帳に新幹線の絵を描いてはため息をつくという毎日でした。それを不憫に思ったのが、ある日母親が新幹線に乗せてくれると一週間後の日付の入った乗車券を見せてくれました。でもそこは貧しい我が家です。小田原から東京というほんの30分ちよいの本当に超小旅行だったのですがそれが嬉しくて嬉しくて…。その一月前くらいから母親の帰りが遅いなどは思っていたのですが、今思えばその新幹線代の為に少し無理をして仕事を増やしていたんでしょね。そんなこと小学生の私に分かるはずもなく…。それから当日までの一週間が本当に長く感じまして…。当日の事なんて今でもはっきり思い出せます。新宿から小田急線で小田原まで行き、乗る電車が来るずっと前から新幹線ホームに入り入線する電車をずっと眺めては記念撮影したり車体にベタベタ触ったり。憧れの新幹線に初めて触れたんですからね…。

私もだいふ年を取りましたがあの時より胸の高鳴りを感じたことは今でもありません。そのせいで興奮して手ふればかりでまともな写真はほとんどありませんでした…。

車内から見える景色の動きが明らかにさっきまで乗っていた小田急線とは違い凄まじいスピードで走る新幹線に何というか人間の持つ

可能性といいますか希望といいますか…。随分勇気づけられたのを覚えています。人間頑張ればこんなものも作れちゃうんだね、と。そんな凄い電車に乗れたって事が妙に誇らしく感じられて。

最近はずっかり夢のない時代になってしまいましたが、新幹線だけはこれからもこんな子供に夢を与える乗り物であって欲しいと自分の体験を思い返すとそう切に願わずにはいられません。

ってなんか病気になる昔の事を思い出さずようになるとよく言われていますが本当にそうですね…。新幹線のニュースを見るたびになんか胸がちくちくと痛みます。

てなわけで、あまり関係ない事ばかり書いてしまいましたが今後とも小鳥事務所を宜しくお願い致しますという事でした。それでは～。



42

僕の彼女はセーラー戦士6

発行日 ■平成20年12月28日
発行元 ■小鳥事務所
連絡先 ■kotorijim@hotmail.com

無断転載無断複写禁止

For Adult



僕の彼女は
セーラー戦士

6